

NO.11 検修設備

期 間：2日間

	関東NO.11	関西NO.11
開催日	2026年1月28日(水)～2026年1月29日(木)	2025年11月5日(水)～2025年11月 6日(木)
募集期間	2025年4月 1日(火)～2026年1月14日(水)	2025年4月 1日(火)～2025年10月22日(水)

車両検修設備の計画から導入までをまとめたマニュアル資料集を説明する講座

受講対象者 鉄道事業者などの車両検修設備担当者

目 標 車両検修設備の担当者として知っておくべき知識及び留意すべき点を理解するよう講義します。

目 的 車両検修設備の担当者が設備計画を立て実際に設備を導入するまでに必要な専門知識を習得します。

講 師

(元)東日本トランスポートエック(株) 設備機械事業本部 企画営業部	担当部長	林 茂幸 氏
四国鉄道機械(株) 車両事業部	車両部長	今井 聡博 氏
(元)JR西日本新幹線テクノス	常務取締役	中野 好朗 氏
(株)JR西日本テクノス 設備支店(設備事業部在勤)	部長	圓一 高行 氏
西日本旅客鉄道(株) 鉄道本部 車両部 検修課	課長代理	日置 潤一 氏

- 講義内容**
- | | |
|----------------------------|--------------------------|
| 1. 検査体系と車両の保守 | 6. 共通設備 |
| 2. 車両検修形態について | (1) 各種設備 |
| 3. 検修設備計画の考え方と具体的手順 | (2) 要員算定と事務所等の面積算定 |
| 4. 車両基地設備 | 7. 設備計画で配慮すべきポイント |
| (1) 車両基地の配置とレイアウト | (1) 効率化と省力化の考え方とその事例 |
| (2) 設備規模の算定と設備標準 | (2) 検修設備のCBMとIOTについて |
| (3) 在来線基地の検修設備 | 8. 最近の設備事例 |
| (4) 新幹線設備の検修設備 | 9. 今後の車両保守のあり方 |
| 5. 工場設備 | |
| (1) 工場設備計画の考え方 | |
| (2) 工場設備規模の算定 | |
| (3) 在来線工場の概略面積算定手法 | |
| (4) 在来線工場のレイアウト案 | |
| (5) 在来線工場の作業別検修設備 | |
| (6) 新幹線電車検修工場の作業別検修設備 | |

受講料

正会員：43,010円（税込）（個人正会員、及び団体正会員の会社・団体に所属する社員）

（資料代「鉄道車両検修設備 計画・設計マニュアル」6,050円（税込）を含む）

非会員：51,150円（税込）

（資料代「鉄道車両検修設備 計画・設計マニュアル」6,050円（税込）を含む）

・リモート受講の場合も対面受講の場合と同額となります。

その他

・本講座は、関東、関西の区別なく受講が可能です。

・リモート受講を併用するので、遠隔地からの受講も可能です。

2025年度車両技術講座 受講申込書

講座名 関東NO.11 検修設備

標題について、下記の通り受講の申し込みをします。

受講者氏名	年齢	会社名・勤務先・職名	電話	E-mail アドレス	受講形式	リモート受講の可否	団体会員	個人会員	記事
		【宛先(受講者本人と異なる場合)】 【資料送付先住所】							
		【宛先(受講者本人と異なる場合)】 【資料送付先住所】							
		【宛先(受講者本人と異なる場合)】 【資料送付先住所】							
(記載例) ヤマカワ 山川 太郎	◇	〇〇(株) 運用車両△△部 〇〇課 主任	××-×××-××××	****_****@***.**.jp	リモート	○	○	○	

- ①講座は関東、関西で開催となりますが、関東、関西の区別なく受講が可能です。受講申込書は関東、関西を間違わないようにご使用ください。
- ②講座は対面またはリモートによる受講となりますので、どちらで受講されるかを「受講形式」欄にご記入下さい。
- ③リモートの場合、Zoomとなります。
- ④万一对面による講座が開催できない状況下ではリモートのみの開催も検討します。その場合はZoomとなりますが、リモートになった場合でも受講される場合には「リモート受講の可否」欄に○を記入願います。
- ⑤リモート受講を希望される方には、事前に講義資料をお送りしますので、資料送付先住所をご記入ください。なお、資料送付先が受講者ご本人以外の場合は、その宛先と住所をご記入ください。
- ⑥「団体会員」、「個人会員」欄は該当する場合、○を記入願います。

責任者ご氏名	会社名・お役職名	電話	E-mail アドレス	記事

2025年度車両技術講座 受講申込書

講座名 関西NO.11 検修設備

標題について、下記の通り受講の申し込みをします。

受講者氏名	年齢	会社名・勤務先・職名	電話	E-mail アドレス	受講形式	リモート受講の可否	団体会員	個人会員	記事
		【宛先(受講者本人と異なる場合)】 【資料送付先住所】							
		【宛先(受講者本人と異なる場合)】 【資料送付先住所】							
		【宛先(受講者本人と異なる場合)】 【資料送付先住所】							
(記載例) ヤマカワ 山川 太郎	◇	〇〇(株) 運用車両△△部 〇〇課 主任	××-×××-××××	****-****@***.**.jp	リモート	○	○	○	

- ①講座は関東、関西で開催となりますが、関東、関西の区別なく受講が可能です。受講申込書は関東、関西を間違わないようにご使用ください。
- ②講座は対面またはリモートによる受講となりますので、どちらで受講されるかを「受講形式」欄にご記入下さい。
- ③リモートの場合、Zoomとなります。
- ④万一对面による講座が開催できない状況下ではリモートのみの開催も検討します。その場合はZoomとなりますが、リモートになった場合でも受講される場合には「リモート受講の可否」欄に○を記入願います。
- ⑤リモート受講を希望される方には、事前に講義資料をお送りしますので、資料送付先住所をご記入ください。なお、資料送付先が受講者ご本人以外の場合は、その宛先と住所をご記入ください。
- ⑥「団体会員」、「個人会員」欄は該当する場合、○を記入願います。

責任者ご氏名	会社名・お役職名	電話	E-mail アドレス	記事